

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

バルベルト緑内障インプラントとアーメド緑内障バルブの術後成績および合併症の検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 2022 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日に昭和医科大学江東豊洲病院眼科で緑内障に対してバルベルト緑内障インプラント (Baerveldt glaucoma implant:BGI) またはアーメド緑内障バルブ (Ahmed glaucoma valve:AGV) を受けられた患者さん		
2. 研究目的・方法 近年、緑内障手術領域は新規治療用デバイスの普及により治療の選択肢が広がっています。すべての緑内障手術において眼圧を下降させるという目的は同じですが、それぞれの術式の落ち着く眼圧があるため、我々眼科医は患者背景や目標眼圧に基づいて様々な術式から選択する必要があります。 チューブシャント手術（プレートのあるもの）はインプラント手術に分類され、本邦では 2012 年にバルベルト緑内障インプラント (Baerveldt glaucoma implant:BGI)、2014 年にアーメド緑内障バルブ (Ahmed glaucoma valve:AGV) が認可されました。難治性緑内障患者に適応があるため、治療の最後の砦の 1 つであり当院でも施行しています。強力な眼圧下降を得られる一方で様々な合併症を呈する症例を経験することがあり、我々は BGI と AGV の術後成績および合併症の比較を行うため、診療録をもとに後ろ向き研究として検討するため本研究を計画しました。		
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、緑内障病型、手術前後点眼数、手術前後眼圧、術後合併症		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません		
6. 研究組織 研究責任（代表）者 昭和医科大学江東豊洲病院 眼科 吉見 翔太 研究分担者 昭和医科大学江東豊洲病院 眼科 岩渕 成祐 研究分担者 昭和医科大学江東豊洲病院 眼科 小菅 正太郎		

研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院 眼科	藤川 穂奈美
研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院 眼科	石橋 慧一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院 眼科	氏名：吉見 翔太
住所：東京都江東区豊洲 5-1-38	電話番号：03-6204-6000